

災害時における新潟大学の取組

< 講演 1 >

「今後、新潟地域において予測される地震災害」

新潟大学 災害・復興科学研究所 所長 卜部厚志 氏

2024年能登半島地震では、新潟市域において多くの液状化被害が発生しました。この震災から、これまでの研究により想定されている新潟地域の地震災害や津波被害、液状化被害などについてご紹介します。



(写真撮影：令和6年1月1日 新潟市西区寺尾)

< 講演 2 >

「被災地大学が発信する災害医療－新興感染症から命を守る取組」

新潟大学 大学院医歯学総合研究科（医学系）

災害医学・医療人育成分野 特任教授 高橋昌 氏



新型コロナウイルス感染症。この人類の危機に、世界一低い死亡率を達成した新潟県。そこには、中越地震・中越沖地震から今日迄の度重なる災害の経験、災害医療のノウハウが生かされていました。新潟県が新潟大学と災害を科学しながら乗り越えた4年間の取り組みをご紹介します。

日時：令和6年8月20日(火) 開場：13:30

会場：新潟大学ライフイノベーションHub2階
コワーキングスペース

Innovation Design Atelier (I-DeA)
(新潟市中央区学校町通2番町5274番地)

*対面式となりますが同時にZoom配信を行います！



第1部 講演会：14:00

第2部 パネルディスカッション：16:05

交流会 講師とセミナー参加者との交流会：17:00



【お申込】

申込み締切 8月14日(水)



URL:<https://forms.office.com/r/eUkS64sfPc>

主催：新潟大学産学連携協力会 共催：I-DeA 後援：新潟大学社会連携推進機構

お問い合わせ

新潟大学 産学官連携リサーチ・コーディネーター 島崎・眞島
TEL:025-262-7554 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp